

書 陵 部 紀 要 総 目 次 (創刊号—十号)

書陵部官制の変遷	1	51	国忌の廃置について	中村 一郎	2	1
蔵書史と新収書解説	1	55	貞享度大嘗会の再興について	武部 敏夫	4	54
貴重図書の翻刻と出版	1	60	江戸時代歴代天皇の御書流	大窪 太朗	8	27
疎開から展示会へ	1	62				
編修課事業概要	1	69	但馬国朝来郡栗鹿大明神元記に就いて	是澤 恭三	9	1
歌合変移の一モメント	3	18	日本仏教公伝年代の問題	北條 文彦	9	18
— 康和期国信卿家歌合と俊頼と基俊と—			— 欽明天皇御世戊午年伝来の説について—	小林 盛得	6	24
「奈良の歌合」の成立と伝存	6	34	撰関期における浄土思想の一考察	小林 盛得	6	24
— 奈良花林院歌合と永祿奈良房歌合と—			— 慶滋保胤について—	小林 盛得	10	47
院政期歌壇の一考察	10	1	空也と平安知識人			
— 藤原俊忠の生涯をめぐって—			— 空也諫と日本往生極楽記弘也伝—			
和歌・連歌・俳諧	3	1	釋慶政略伝		10	55、七八
— 宗祇・兼載の俳諧百韻その他を紹介して俳諧						一一三
連歌抄の成立に及ぶ—			樂翁公松平定信の蒐集に係はる大般若經	大窪 太朗	3	五六
北野信仰と連歌	5	32	戸籍より見た大宝前後の継嗣法	今江 廣道	5	16
— 特に庶人の嫡子について—			所謂「陸奥国戸籍」残簡について	今江 廣道	9	四八
図書寮本類聚名義抄出典索引	1	27	所謂「陸奥国戸籍」残簡調査概報	岸 俊男	10	一〇五
北山の加持	8	1	郡司制の一考察	後藤 四郎	4	1
旧鈔卷子本春秋経伝集解に於ける頼業の訓説とそ			— 任用規定を中心として—			
の伝授について	8	11	上代国司制度の一考察	菊地 康明	6	九
関書余録—頼業の学庸表章説について—	8	21	不三得七法について	菊地 康明	10	三三
応神・仁徳・履中三天皇陵の規模と營造	5	1	律令制官人社会構成の一考察	野村 忠夫	2	一五
陵墓参考地…鶴塚・秘塚の調査	6	1	— 外位制の本質と機能を中心に—			
皇后・中宮問題の解決	1	1				

律令制官人構成についての序章 —装演生秦常忌寸秋庭の場合—	野村 忠夫	4	号数	18	頁数
太政官厨家について	橋本 義彦	3		三八	
院政政権の一考察	橋本 義彦	4		三六	
南北朝、室町期における庄園的収取機構 —東寺領丹波国大山庄を中心として—	田沼 睦	10		五六	
広橋守光日記について	菊地 康明	3		四九	
集 報（昭和二十六年—同三十二年）		2, 4, 5 6, 8, 9			
正倉院はいかに守られたか	和田 軍一	7		九五	
正倉院年表	松本 包夫	7		一四九	
正倉院校倉屋根内部構造の原形について	浅野 清	7		五	
献物帳所載の御物と現存品について	松島 順正	7		一〇五	
題名・調巻形式より見た聖語藏大智度論について	松本 包夫	7		一一六	
昭和二十八—三十年正倉院御物材質調査	大賀 一郎外	8		五七	
昭和廿三・廿四年度正倉院楽器調査概報	林 謙三	1		一〇	
昭和二十五年正倉院楽器調査概報	祐泰・林 謙三	2		二八	
昭和二十六年正倉院楽器調査概報	遠一・岸邊成雄	3		七四	
昭和二十七年正倉院楽器調査概報	祐泰・林 謙三	3		七四	
和琴の形体の発育経過について	林 謙三	10		九四	
犀門文錦について	太田 英藏	7		七九	
正倉院錦綾に見る特異技法の一考察(一)	佐々木信三郎	9		六一	
正倉院錦綾に見る特異技法の一考察(二)	佐々木信三郎	10		七九	
正倉院御物の模様染について	明石 國助	8		四一	

正倉院御物「鏡」の製作技術の研究（正倉院 御物金工品の調査報告）	内藤 春治	5	号数	四三	頁数
正倉院御物金工品の技術的研究（正倉院御物金工品の調査報告） —白銅鏡の製作工程に就いて—	鈴木 信一	5		五四	
正倉院の御物鏡について	梅原 末治	7		一九	
正倉院御物研究報告書（正倉院御物金工品の 調査報告）	山脇 洋二	5		六〇	
正倉院御物金工品の影金の調査（正倉院御物 金工品の調査報告）	後藤 年彦	5		七〇	
正倉院御物の技術的調査報告書（正倉院御物金工品の調査報告） —主として鍛金（鋳起・打出）について—三井安蘇夫	渡邊 武	5		七七	
正倉院宝庫の薬物	松田權六・吉野富雄・岡田譲	7		三〇	
正倉院漆漆品調査報告（上）	溝口三郎・北村久造	9		七八	
正倉院密陀絵調査報告	北村大通・山崎一雄・木村康一	4		六八	
南倉和琴の瑠璃絵の技法	上村六郎・龜田 孜	7		六九	
（南倉和琴の所謂瑠璃画について）	松村 政雄	7		四九	
瑠璃画の復原について	林 謙三	7		四九	
（南倉和琴の所謂瑠璃画について）	松島 順正	7		一三一	
正倉院御物銘文集	松島 順正	2		附一	
正倉院古裂銘文集成(一)	松島 順正	3		附一八	
正倉院古裂銘文集成(結)	鈴木 一男	6		附一	
聖語藏成実論卷十一（天長五年） 成実論卷二十二（天長五年）	鈴木 一男	8		附一九	
正倉院年報（昭和二十五年—同三十二年）		8, 10, 16			